



トラブルシューティングガイド BF60A, BFP60A

目次

*ご覧になりたい項目をタップ／クリックしてください

- 警告灯が点灯／消灯した
- エンジンが始動しない
- エンジンが始動してもすぐ止まる／航走中
時々エンジンが止まる
- 船外機が落水した場合の対処
- エンジンスイッチで始動できない場合の対処
(付属の始動ロープによるエンジン始動)

このトラブルシューティングガイドは、お買いあげの船外機に付属している取扱説明書の説明内容を補助するものです。不明な点については、取扱説明書を参照してください。当ガイドの写真に映っている船外機は、お手持ちのモデルと異なる場合があります。当ガイドをお手元のデバイスにダウンロードし、いつでも見られるようにしておくことをお勧めします。

WEBマニュアル／取扱説明書PDF／店舗検索

<https://www.hondapps.com>

警告灯／表示灯の意味

オイル油圧表示灯

運転中、エンジンオイルが正常に循環しているときは緑色のランプが点灯します。

エンジンオイルの量が少なかったり、油圧系統に異常があると消灯し、ブザーが吹鳴します。また、エンジンの回転が徐々に落ちます。

オーバーヒート警告表示灯

運転中、エンジン冷却系統が正常な場合は消灯します。エンジンの冷却系統に異常があると赤いランプが点灯し、ブザーが吹鳴します。また、エンジンの回転が徐々に落ちます。

ACG警告灯

運転中、エンジンのAC ジェネレーター（交流発電機）本体および充電システムが正常な場合は消灯します。

異常があると赤いランプが点灯し、ブザーが吹鳴します。

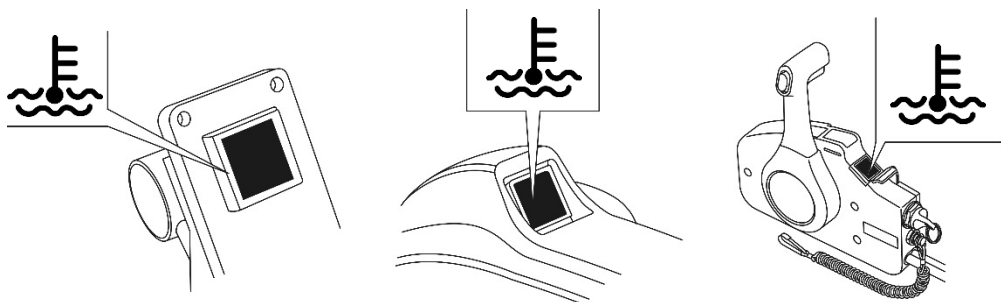
PGM-FI警告灯

運転中、エンジンのPGM-FI（電子制御燃料噴射装置）が正常な場合は消灯します。

異常があると赤いランプが点灯し、ブザーが吹鳴します。

エンジンスイッチをONにすると、すべての警告灯／表示灯が短時間点灯し、ブザーが2回吹鳴します。

現象と対処



現象

オーバーヒート警告表示灯が点灯する

オーバーヒート警告灯が点灯する。

ブザーが連続音で鳴る。

エンジン回転数が低下し最終的には停止する。

スロットルを開けてもエンジン回転数が上昇しない。

考えられる原因と対処

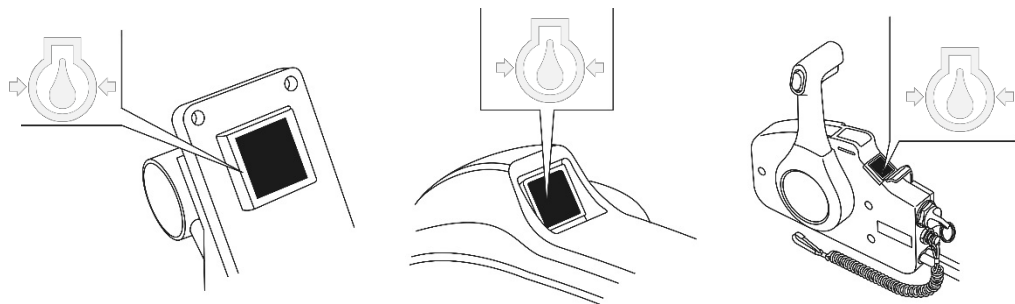
冷却水吸水口の詰まり。吸水口を清掃する。

点火プラグの品番のちがひ。正しい点火プラグを取付ける。

[>方法を確認する](#)

- ウォーターポンプの不良。
- サーモスタットの詰まり
- サーモスタットの作動不良
- 冷却系水路の詰まり
- 排気ガスの冷却系への混入

サービス店に相談する。



現象

オイル油圧表示灯が消灯する

オイル油圧表示灯が消灯する。

ブザーが連続音で鳴る。

エンジン回転数が低下する。

スロットルを開けてもエンジン回転数が上昇しない。

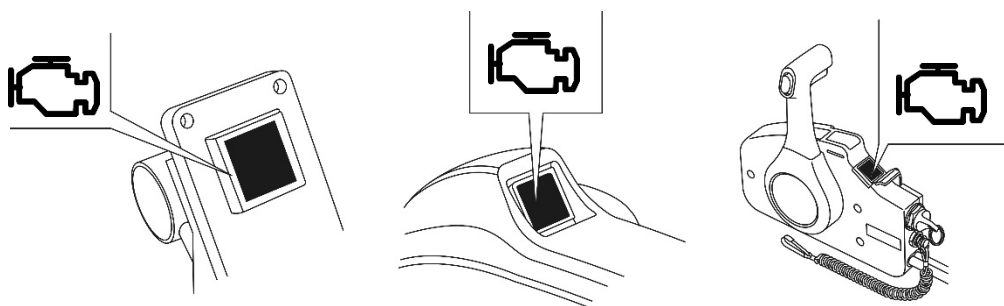
考えられる原因と対処

エンジンオイルの不足。エンジンオイルを規定量まで補給する。

>方法を確認する

推奨オイル以外のオイルを使用している。推奨オイルと交換する。

>方法を確認する

**現象**

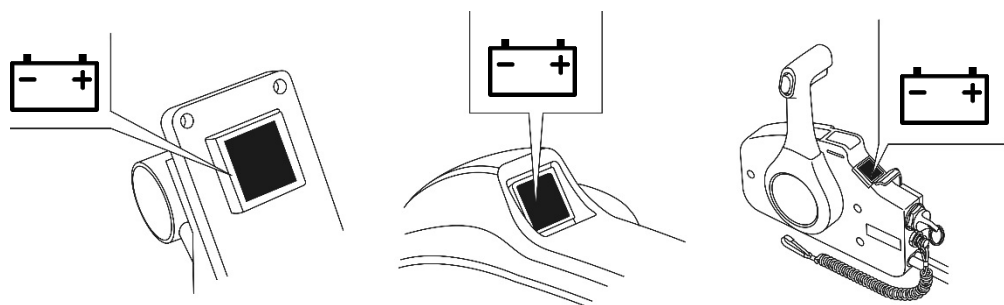
PGM-FI 警告灯が点灯する

PGM-FI 警告表示灯が点灯する。

ブザーが断続的に長く吹鳴。

考えられる原因と対処

PGM-FI システムの異常。サービス店に相談する。

**現象**

ACG警告装置が点灯する

ACG警告装置が点灯する。

ブザーが長音で断続的に鳴る。

考えられる原因 & 対処

充電ヒューズ切れ。ヒューズを交換する。

>方法を確認する

ACG不良。サービス店に相談する。

バッテリー電圧が過電圧および低電圧となった。バッテリーを点検する。原因を診断するためにサービス店に相談する

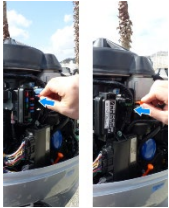
スターターは作動するがエンジンが始動しない

考えられる原因	対処
燃料タンクに燃料がない。	給油する。  >方法を確認する
燃料タンクの通気ノブが開いていない	ノブを開く。
燃料ホースコネクタが正しく接続されていない	接続をしなおす。
燃料タンクフィルターが詰まっている	清掃する。  >方法を確認する
燃料フィルターが詰まっている	交換する。  >方法を確認する
燃料ホースの折れ曲がり	折れ曲がりをなおす。
劣化ガソリンを使用している	新鮮なガソリンと交換する。 >方法を確認する

考えられる原因	対処
燃料ポンプの作動不良	サービス店に相談する。
点火プラグの汚れ	サービス店に相談する。
点火プラグの火花すき間の不良	調整する。 >方法を確認する
点火プラグの破損	交換する。  >方法を確認する
CRANKセンサーの不良	サービス店に相談する。
ECUの不良	サービス店に相談する。
イグニッションコイルの不良	サービス店に相談する。

考えられる原因	対処
ワイヤーハーネスの不良	サービス店に相談する。
非常停止スイッチコードの電気リーク	サービス店に相談する。
非常停止スイッチの戻り不良	サービス店に相談する。
点火プラグの締付け不良	点火プラグを確実に締付ける。  >方法を確認する
非常停止スイッチクリップの取付け不良	クリップを確実に取付ける。

スターターが作動しない

考えられる原因	対処
ACGコイルの不良	サービス店に相談する。
ワイヤーハーネスの不良	サービス店に相談する。
シフトレバーまたはコントロールレバーが“中立”になっていない	レバーを“中立”にする。
ヒューズが切れている。	ヒューズを交換する。  >方法を確認する

燃料タンクに燃料がない

考えられる原因	対処
燃料タンクに燃料がない。	給油する。  >方法を確認する

燃料タンクに燃料がある

考えられる原因	対処
燃料に水が混入している	サービス店に相談する。
燃料タンクの通気ノブが閉いていない	ノブを開く。
燃料フィルター（低圧側）が詰まっている	交換する。  >方法を確認する
燃料タンクフィルターが詰まっている	清掃する。  >方法を確認する
アイドルリングの低すぎ	サービス店に相談する。
燃料ポンプの作動不良	サービス店に相談する。
燃料ホース・ジョイント・コネクター・プライマーバルブよりエアが入っている	サービス店に相談する。

水没した船外機は、腐食を最小限にとどめるため、できるだけ早く分解・整備をおこなってください。
サービス店が近くにある場合は、直ちにお持ちください。
サービス店が近くにない場合は、次に示す整備を行ってください。

ステップ 1 - 船外機の洗浄

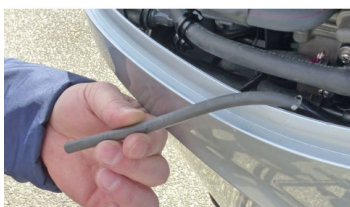
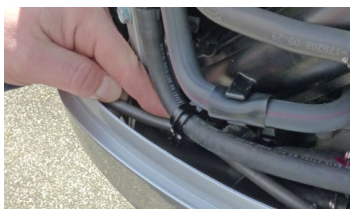


1. エンジンカバーを取り外します。



2. きれいな水でエンジンを洗浄し、海水、砂、泥などを洗い流します。

ステップ 2 - 燃料を抜く



3. インテークマニホールドの突起部に固定されているドレンチューブを外し、チューブの端をアンダーカバーの外に出します。



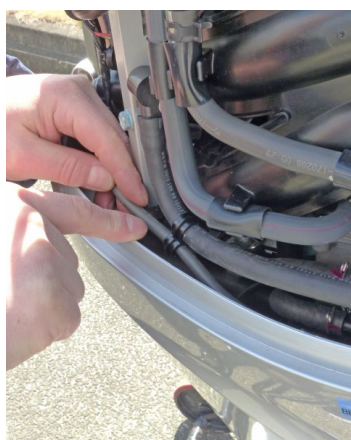
4. 船外機をチルトアップします。



5. ベーパーセパレーターのだレンスクリューをゆるめます。ドレンチューブから燃料が流れ出したら燃料が出終わるまでチルトアップの状態にして待ちます。



6. 燃料が出終わったらドレンスクリューを締付けます。



7. ドレンチューブをインテークマニホルドの突起部に固定します。



8. 船外機をチルトダウンします。

ステップ 3 - エンジンオイルの交換



9. オイル給油口キャップを取り外します。



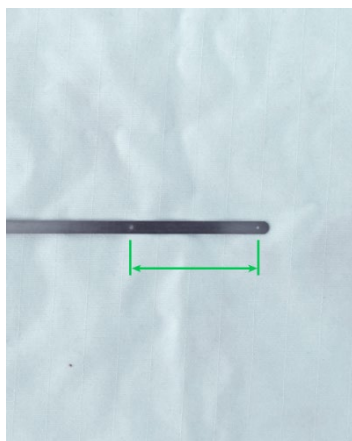
10. ドレンボルトカバーの下にドレンパン（排油受け）を置きます。ドレンボルトを工具を使って取り外します。エンジンオイルがしずくになるまでしっかりと排出してください。



11. エンジンオイルを排出したら、ドレンボルトを新品のシーリングワッシャーとともに取り付けてください。工具でしっかりと締めつけます。

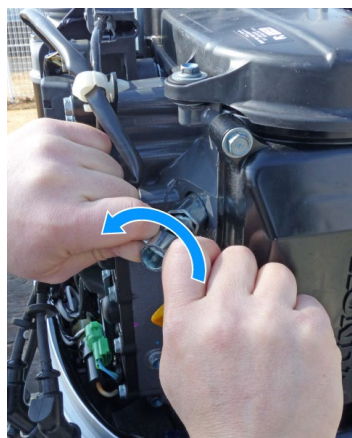


12. オイルレベルゲージの上限まで新しい推奨エンジンオイルを補給します。補給の際は上限を超えないようにしてください。多すぎるエンジンオイルはエンジンに悪影響を与えます。



13. オイルレベルゲージを抜き、布切れでオイルを拭き取ります。再度オイルレベルゲージをエンジンに差込み、抜き出します。上限と下限の間にオイルレベルがあるようにしてください。
A：上限
B：下限

ステップ 4 - エンジンシリンダーにオイルを注入



14. 点火プラグを取り外します。



15. ACGカバーをとりはずし、付属部品の始動ロープで数回引っ張り、エンジンから水を排出します。
始動ロープの取り付けかたは“エンジンスイッチで始動できない場合の対処”を参照してください。



16. 点火プラグ穴からスプーン1杯ほどのエンジンオイルを注入します。



17. 数回始動ロープを引いてシリンダー内をオイルで潤滑します。作業後、始動ロープを取り外します。



18. 点火プラグを、ネジ山を壊さないように、まず指で軽くまでねじ込みます。手でいっぱい締めこんでから、工具で1/8—1/4回転締めつけます。

ステップ 5 - エンジンを始動する



19. エンジンカバーを取り付けます。

注意

落水したときにエンジンがかかっていた場合、コネクティングロッドが損傷している可能性があります。始動ロープを引いたときに引っかかりがあった場合、修理されるまではエンジンを始動しないでください。

19. エンジンを始動します。

- もしエンジンが始動しなかった場合、点火プラグを外して電極と碍子を乾燥、清掃してください。点火プラグを取り付け、再度エンジン始動を試みます。
- 排出したエンジンオイルが乳化していた場合、次のオイル交換は30分間のエンジン運転の後に行ってください。
- エンジンが始動し、異音や異常が認められない場合は、そのまま30分間運転を続けてください。

整備が済んだら、できるだけ早くサービス店で点検を受けてください。

バッテリーが上がったときなどエンジンスイッチで始動できないときは、付属部品の始動ロープを使って次の手順でエンジンを始動します。



1. エンジンスイッチキーを“OFF”（停止）の位置にします。



2. エンジンカバーを取り外します。



3. ACGカバーのボルト2本を取り外します。

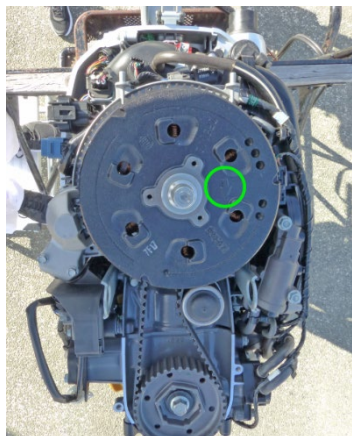
- シフトレバーまたはコントロールレバーを“N”
(中立) の位置にします。

警告

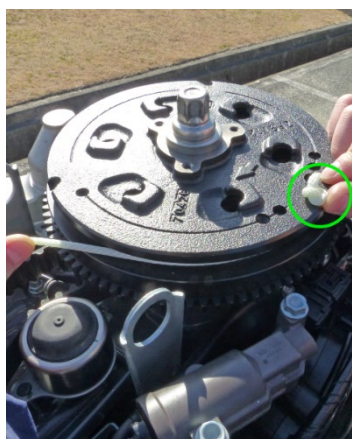
ニュートラルスターターシステム (Nの位置でないとエンジンが始動しないシステム) はこの状態では作動しません。前進や後進にシフトレバーが入っていると、エンジン始動を試みたときに船が飛び出すなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



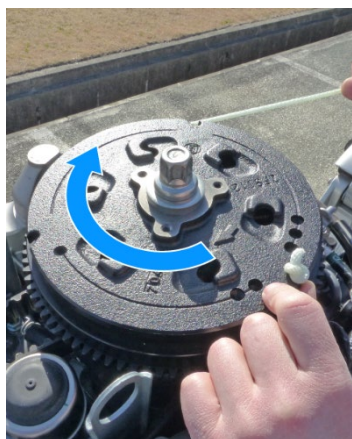
- ティラーハンドル仕様：スロットルグリップが“全閉” の位置になっていることを確認します。
リモートコントロール仕様：ファストアイドルレバーが“START” 位置にあることを確認します。



6. ACGローターを反時計回りに回し、矢印マークをスターターモーターの位置に合せます。画像の位置を参考にしてください。



7. ACG ローターの切り欠き部が左右になる位置にして、付属部品の始動ロープの結び目をACG ローターの切り欠きに引っかけます。



8. ロープを溝にそって反時計方向に1回転半巻き付けます。



11. 非常停止スイッチに非常停止スイッチクリップを取付けます。
カールコードを運転者に装着してください。



12. エンジンスイッチキーを“ON”（運転）の位置にします。



13. 始動ロープを静かに引いて、重くなったところで周囲に十分注意して強く引っ張り、エンジンを始動させます。



14. エンジンが始動したら
ACG カバーは取付け
ずに、エンジンカバー
を取付け、確実にロッ
クします。